

R6 地域こん談会まとめ

案件番号	自治会名	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
1	馬路町自治会	川東保育所園舎の新築等について 子どもたちが安心して過ごせるためには、安心安全な保育環境を整理していくことが重要な施策となっている。「亀岡市立川東保育所」は、昭和50年に全面改築され、今年で49年目が経過し、老朽化が著しく進んでいることや耐震化ができていないこと、入園希望に対するために早期の建て替えが必要になっている。こういったことを踏まえ、新築については、平成29年8月4日に、「川東保育所移転新築にかかる要望書」を川東保育所保護者会並びに川東4町自治会(旭町・千歳町・河原林町・馬路町)から市長へ提出したが、実現には至っていない。亀岡市では、今、「亀岡市立川東保育所」の新築に向けて検討を進めていただいているとのことであり、地元においても、よりよい園舎の建築に向けて協議を進めていきたいと考えている。馬路町の乳幼児が入園できない状況にもなっているが、新しい保育所の保育内容、施設規模、保育環境整備、開園に向けてのスケジュール等、こういった構想を考えておられるのかを伺いたい。	公立保育所等の施設整備については、老朽化の状況や工事に係る事業費、また各地域の教育・保育のニーズの状況を鑑みながら順次計画を進めています。川東保育所におきましては、現園舎が昭和50年に完成し、今年で築49年を迎えました。施設の老朽化や耐震化対策といった課題があり、施設整備が必要であると考えています。 整備の計画内容については、以前、川東地区4町の皆さまからいただいております要望内容に沿って進めることとし、また具体的内容は地元関係者のみなさまのご意向もお伺いして、今後整備計画を進めていきたいと考えており、亀岡川東学園に隣接する自治会所有の土地を活用させていただくことを、第一の案として検討しています。そこへ新築移転することで、乳幼児期から義務教育終了時までの一体的な保育・教育の実践にもつながると考えています。 施設規模については、現在の利用定員が125人、園舎の延床面積が944.5㎡となっていますが、今後は特に保育ニーズの高い0歳から2歳までの低年齢児を中心に入所児童数の増加が見込まれることから、そのことも踏まえ、今後のニーズ動向を分析しながら最終的な規模を決定していきます。 今年度は、整備用地について地元の合意を得られたら、今後の計画について立案を進めていきたいと考えています。	こども未来部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです
		【質問等】 7年か8年前に川東学園への隣接を聞いた折には、賛成意見が少なかったと思う。保育所PTAから要望書が提出されたと聞いたが、どのような要望であったのか、川東学園に隣接することによるメリットを伺いたい。また、私自身は協議に一度も参加させていただいていないため、どのようなメンバーで協議されているのか伺いたい。	この件については、今後話が進んでいく状況であり、現段階で具体的に決まったことはありません。ただ、平成29年にPTAの方々のお話も含めて、馬路町の皆様、そして川東4町の皆様の意見を取りまとめた要望書をいただきました。それ以降については、具体的な話はまだまだまとまっていないという状況です。そして、川東学園の隣接場所にするメリットについてですが、その場所でなければならないという詰めまではできていません。	こども未来部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです
		【質問等】 子どもファーストと市長もおっしゃってクイックレスポンスで多くの事業をやっていただいていると思う。しかし、(隣接を)あまり良いと思わない意見もここ数日で聞いている。強引に進めるのも必要な時はあるとは思いますが、隣接ありきで話を急速に進めるのではなく、意見が言い合える状況を作っていただきたい。	こども未来部長から第一案としての提示があったと思います。これは以前、4町でまとめていただいたご意見をもとに作っています。あれから時代も進み、より一層安全安心の問題という話も伺っています。隣接する馬路町の土地に建てるという意義はあると思っています。小中一貫校で幼小連携という取り組みもあります。大きなグラウンドも子どもたちに使ってもらうことができるのではないかと想定しています。しかし、これは地域の皆様の意見をしっかりと聞かなければならないと思っています。特に心配されているのは送り迎えの自動車が増えることによる地域の子どもの通学路が安全安心なのかということだと思います。亀岡市としては、これでコンプライトするというわけではなく、来年の4月に今の保津保育所が新しく新設されます。それができたら、次は川東保育所という計画です。今年度中に場所をどこにするのかということを含めて、タイムスケジュールを決めていければと思っています。亀岡市としては、今あるところの保育所を壊して、別個に仮設の保育所を建てて、そこに作るというのは経費的な面で高くつくこともあり、できれば、違う場所で最終的に土地を交換できるような場所、前中澤自治会長の折には、自治会と市が土地を交換できるのも一つだご意見をいただきました。亀岡市にとってはありがたいことで、なるべく経費を最小に抑えながら、よりよい施設を作りたいと思っていますので、地元地域の皆様には頭においていただき、今後場所の選定も含めて、再度地元としてまとめて頂けたらありがたいと思っています。現状として、小学校・川東学園の土地というのは、第一案として亀岡市としては思っているということですが、それがすべて決定ではないという状況です。	市長 (こども未来部長)	③検討	こん談会時の回答のとおりです

R6 地域こん談会まとめ

		<p>【質問等】 この週末に他の町が集まった際に馬路町の住民は駐車場がなくなっても歩いていけるが、あとの3町は駐車場がなくなってしまうと行事にも行けなくなってしまうという意見もいただいたので、子どものことは、慌ててするのではなく、慎重に行ってほしい。</p> <p>協議を亀岡市から川東保育所の建て替えについて、地元の提案を出してほしいとの話をいただいている状況。保育園の皆様でアンケートをとった経過もあるが、その時から年数も経っているので、また交通事情も変わったり安心安全について自治会にも話がいっているのでは、勝手に決めるのではなく、意見を聞かせていただき、総合的に受付していきたいと思っている。施設規模や年齢構成も聞きながら決めていきたいと思っている。</p>	4町の意見をまとめていただくようよろしくお願いします。	市長 (こども未来部長)	③検討	こん談会時の回答のとおりです
		<p>【質問等】 開園の時期を伺いたい。</p>	まずは、場所がきまりましたら、場所に応じた設計をし、どのくらい予算がかかるのか、議会で予算を認めていただけたら、実施設計し、順次スムーズに進んでいったとしても4年くらいはかかると思います。	こども未来部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです
2	馬路町自治会	<p>こん談事項 平の沢池中池の駐車場整備について</p> <p>馬路町池尻区にある平の沢池中池湖畔の駐車場整備については、亀岡市により、令和5年度に現地測量をしていただき、これに基づく計画平面図を提示していただいた。これを基に地元役員で協議を進める。</p> <p>この駐車場は、平の沢池に訪れる方への利便性や交通事故防止にも役立つものであるとともに、今後の平の沢池周辺整備にも大きな効果を発揮していくものと期待をしている。</p> <p>については、今後の設計・施工にあたり、さくらウィークのライトアップも行うことから照明や転落防止のフェンスの設置などの安全対策並びに今後の維持管理についても十分配慮したものにお願いする。また、今後の駐車場の活用面から電力量にも対応できる電気配線設備についても検討していただきたい。</p> <p>今後の駐車場整備内容や工事計画等について、具体的にご説明を願いたい。</p>	<p>平の沢池中池の駐車場整備については、令和6年5月29日から、自治会及び地元役員と協議を進めています。</p> <p>整備内容</p> <p>① イベント時に大型バス等の乗り入れを想定し、幅員6.0mの進入路の整備 ② 進入路及び駐車場のアスファルト舗装 ③ 駐車場から歩道へ直接アクセス出来る階段の設置 ④ 安全対策として、駐車場周辺の転落防止柵の設置、進入路のガードレールの設置 ⑤ 維持管理を考慮し、進入路等の法面に防草シートの設置 ⑥ 進入路入口、階段付近に道路照明の設置</p> <p>今年度の完成に向けて、工事発注の準備を進めていきます。</p>	まちづくり推進部長	①実施	令和7年5月完成予定です。
		<p>【質問等】 せっかく駐車場ができるのに歩道側の桜がライトアップできず、今年もライトアップさせていただいたが、中池の堤防から奥は、トイレの手前まで桜があるが、そこは電気が取れず、発電機を貸りてライトアップをしたが、調子が悪く、結局地元の人が自分の所有している発電機を持参してライトアップを行った。できれば、歩道側もライトアップしていこうと思うと電気が足りないのでは、関西電力と協議の上設置していただけたら歩道側もライトアップできる。駐車場止めていただいた方が暗い中を歩くことなく、桜を見ながら移動できるのでいいのではないかなと思う。</p>	水鳥の道のライトですが、景観のため無電柱(電柱がない状態)でしています。フットライトが調子の悪いところもありまして、来年度予算で修繕を検討したいと思っています。ライトアップのために電柱を立てて、照明をしていくのか、無電柱で下からライトアップするののかについても併せて検討していきたいと思っています。今回の駐車場整備に必要な電源を取り込むときに容量も含めて、検討していきたいと思っています。	まちづくり推進部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです。

R6 地域こん談会まとめ

		<p>【質問等】 夜間の使用については、難しいと地元の方々と協議している。ただ、桜の時期や蓮の時期、年間通じてたくさんの方々にお越しいただいているので、状況を見ながらうまく活用していけたらと思っている。なごみの里もすぐ近くにあるので、連携をしながら相乗効果ができたらと思っている。</p>	<p>地元の皆様には、手作りでライトアップ事業を進めていただいて、感謝をしています。今言われたように駐車場のところから、すべてライトアップできるようにライトを購入しないといけないのですが、順次進めていきたいと思います。駐車場の件ですが、大きな駐車場ができると見通しもよくなり、夜の防犯面等も考え、基本的には、車止めをつけて、平日の駐車場については、既存の駐車場をつかってもらう。土曜日、日曜日、桜の時期、なごみの里でイベントをやるときは、開けて活用する。安全面やごみの放置の観点からそのような対応が必要かと思えます。自治会の判断で開け閉めできるようにカギは自治会にお預けさせていただきますし、亀岡市のほうも鍵を持って必要な時には開け閉めできるようにしておきます。</p>	<p>市長 (まちづくり推進部長)</p>	<p>⑥その他</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
3	馬路町自治会	<p>中川小十郎翁生家跡地の整備について 中川小十郎翁の活躍の顕彰並びに生家跡地の有効活用の具現化は、馬路町のまちづくりにとって大きな希望であり、新たなランドマークになることが期待される。馬路町には、周囲を塀で囲まれた中川小十郎翁の生家跡があり、今中川小十郎翁の御子孫から亀岡市に対し、生家跡地の寄付の申し出を受けており、その有効活用について亀岡市と立命館大学との間で協議検討をいただいている。亀岡市への寄付に関して土地の利用状況から問題があるとのことで、取り組みが進まない状況だったが、関係者と協議を図り、問題解決の目途が立ってきた。これを踏まえて、亀岡市ではどのように取組を進められるのか、伺いたい。</p>	<p>中川小十郎については、亀岡市が輩出した郷土の偉人の一人であり、市としても、中川小十郎顕彰会と連携して看板を設置する等、その顕彰事業に取り組んできました。 中川小十郎の生家跡については、現所有者から、敷地の整理ができた後にご寄附いただけるというご意向をお聞きしているところです。 ご寄附いただけましたら、顕彰会とも協議をさせていただく中で、ふるさと納税を活用し整備に係る費用を募り、中川小十郎生誕地を記念する公園の整備を進めていければと考えています。 多くの人に活用いただける場所として、整備を行いたいと考えていますので、ご協力をよろしく願います。</p>	<p>生涯学習部長</p>	<p>③検討</p>	<p>生家跡地所有者による整理中</p>
		<p>【質問等】 寄付まで3年間ほどかかっているが、近々で寄付をしていたらという運びになっている。建物が老朽化しており、文化財の担当の先生に診てもらったところ、これは落ちてくるといわれた。それ以降、屋根が落ちたり危険な状態となっている。まずは、残っている建物の保存を早急に考えていただきたい。9月か10月頃に決着するとしたら速やかに取組を進めていただきたい。</p>	<p>当初は、立命館大学が活用していただけたらいいなとありましたが、立命館大学から難しいとの返答がありました。それなら市に寄付をいただけたら、中川小十郎翁の資料を展示できるような記念館にし、残りの敷地を記念公園のような形で地域の皆様に利用いただける公園にしていけたらと思っています。現在、石田梅岩生誕記念館を整備しています。寄付を全国から3億円ほどいただきまして、その財源と協定整備交付金で、トータルで4億円ほどかけて工事を発注したところです。すべて交付金と寄付で賄ったところです。今回の件についても、色んな意味で財源確保を考えていきますので整備をし、寄付をいただけましたら、早急に次の段階に進んでいきますので地元の皆様にもご協力いただけたらと思います。</p>	<p>市長 (生涯学習部長)</p>	<p>③検討</p>	<p>生家跡地所有者による整理中</p>

R6 地域こん談会まとめ

4	馬路町自治会	<p>毎年、発酵時期等によっては悪臭が発生し、地域住民が苦しんでいる。          土づくりセンターについては、有機系発酵促進剤により臭気の抑制を継続していくとのことであったが効果は出ているのか また、その他にも臭気抑制の方法について研究・検討していくとのことであったが、その結果はどうであるのかを伺いたい。丹波畜産養豚場の悪臭の原因となっている沈殿槽の清掃等については、代執行の執行も含め、どういった状況になっているのか          丹波畜産協同組合の経営状況については大変厳しいと思われるが、経営実績報告検討会などから事業者に対して、今後の事業運営についてどういった指導・助言を行っているのか、事業者の考えはどうであるのか、今後の見通しはどうであるか、丹波畜産の運営が厳しい状況から養豚場の悪臭や糞の放置など環境の悪化が危惧される。現状を踏まえ、亀岡市として、今後の環境保全に向けての方策等を示していただきたい。</p>	<p>土づくりセンターについては、指定管理者の市農業公社と継続的に協議しながら臭気抑制に取り組んでいます。          臭気抑制対策としては、先進地でも使用されている有機系発酵促進剤を堆肥製造過程において定期的に散布しており、センターの作業現場からも、臭気抑制に一定の効果があるとの報告を受けています。この発酵促進剤の活用以外では、堆肥の下から高圧の空気を継続して送ることで発酵を促進する設備整備の提案を受けましたが、施設の経年劣化による費用対効果も含めて検討したところ、課題が多くあり実現するには難しいところです。          現状では老朽化した施設修繕に多額の費用が必要となり、将来的には市内畜産農家数も増えない見込みから、市単独の土づくりセンターを維持管理していくことは難しく、将来的に市域を越えた広域的な畜産糞尿処理施設の統合も視野に入れた処理施設の整備を考える必要があります。本市では環境に優しい持続可能な有機農業の推進に力を入れていることから、市内で収集される剪定枝や落ち葉、刈草や食品残渣から作られる、動物性のふん尿等を使わない植物性有機堆肥について研究を進めているところです。市内農業者や生産者からのニーズも聞き取る中で、こうした有機堆肥の製造拠点として現施設が活用できないかも含めて検討したいと考えています。          また、丹波畜産の臭気問題の現状としましては、従前からの沈殿槽の環境悪化問題に加え、豚のふんを搬出するダンプが故障し、修理できないことから運べなくなり、豚舎内の空きスペースにふんが堆積されている状況を確認しているところであり、現在再三指導を行っています。一方で、現状は関係法令に違反している状態とまではいえないことから、行政代執行は困難と考えています。          丹波畜産の経営状況の見通しとしては、現在の飼養頭数は54頭程度と少なく、経営の維持には極めて厳しい状況であると認識しており、丹波畜産側からはこれ以上の豚導入は現状の経営では困難であると聞いています。          丹波畜産が経営破綻した場合、発生している環境問題が放置されることに繋がりがかねないことから、環境保全委員会等での協議を踏まえ地元の皆さん、関係機関とともに今後を見据えた対応をしていきたいと考えています。          今後とも、地元の皆さんと関係機関での情報共有をしながら、丹波畜産の環境問題に取り組んでいきます。</p>	産業観光部長	①実施	こん談会時の回答のとおりです。
		<p>【質問等】          毎年環境保全という形でその養豚場の実地検証をしてきて、協議会も参加していたが、先ほどの説明だと協議会で検討しているという話だが、今年度は一度も協議会の開催はない。年に1度の協議会しか、やっていない状況。現状として、協議会で決定したことに対して、亀岡市から通達されるという形でその後の回答が一切ない。そして、昨年協議したにも関わらず、現状は飼育頭数が54頭しかない。またトラックが故障しているため、糞尿を排出することができない。そのようなことが発生している時点で何とかしないとけないと思っている。亀岡市が動いていただきたい。放置されて馬路町民には我慢しなさいという形で物事が動いている。最後に言われたみたいに会社が倒産した場合には、何とかしないとけない。今までも何とかしてほしいと要望しているが回答がないまま結論を出されたら困る。沈殿槽についても養豚に排出する水路の中にたまった状態であるため、その箇所についても清掃してくださいと伝えたにも関わらず、行えていないままとなっている。沈殿槽から古川のほうに排出している水についても検査されているかわからない。何ら検証もされていない状態なのに問題がなかったと回答する時点で問題だと思う。</p>	<p>雨水の古川への放流は、沈殿槽のもとと設置時にそのうわ水は流すという協議がされたと聞いています。その水質検査も数年前にはありますが、京都府が検査を行ったと聞いています。環境保全委員会ですが、自治会とも調整をさせていただいていますが、今年度の状況や経過を再度確認したうえで開催する予定としています。丹波畜産の現状ですが、一人で経営をされている状況で頭数も54頭ということもあり、民間の事業者の飼育へ行政が入っていけない現状もあります。指導に行ったところ改善するといわれているので対応いただけるものと思っています。また、関係機関の京都府とも連携して対応していきたいと思います。引き続き、環境保全委員会で協議していきます。</p>	産業観光部長	①実施	こん談会時の回答のとおりです。

R6 地域こん談会まとめ

		<p>【質問等】 丹波畜産の現在の状況を踏まえて、近々に環境保全委員会も開催する予定。事業者に指導はいただいているのが、前に進んでいない状況が続いている。経営者自体の経営の状況、環境保全委員会や議会、経営実績報告検討会でも報告をいただいているが、経営が厳しいと状況も理解している。しかし、その状況がしかたないということにもならない。糞尿がトラックが故障して排出ができない状況となっているし、そのまま放置しておくのかという問題となる。京都府を含めて協議いただいで、改善に結ぶような方向を示していただきたい。</p>				
		<p>【質問等】 先ほど部長から最後、経営破綻したときに環境保全委員会のほうに相談するという話があったが、非常に迷惑な話。あくまでも環境保全委員会というのは、環境についてを討議する場。破綻した後に環境に関してどのようにするのかという相談はしたとしても破綻したということで相談することはやめていただきたい。</p>	<p>地元の方々にはご迷惑をおかけしているところではあります。丹波畜産の経営状況は破綻寸前と聞いています。問題は、その後どうするかということですが、金融機関とも話をしながら、最終的には亀岡市がその土地を買い取る予定としています。しかし、丹波畜産としては次の養豚業者に売却したいという思いももっています。市としては、馬路町民からいろいろな要望をうかがっていますし、せつかくこの土地を協議くださっている方もいるのでにおいをきっかけでこの場所を去るようなことになったら悲しいことです。そうならないようにしたいと考え、準備を進めていますので、もうしばらくお待ちいただけたらと思います。現在は、個人の所有地ではありますので行政としては、簡単に手は出せない状況ではあります。それが一定金融機関が、債権として処分するということになった場合は、市としてしっかり確保していく予定です。</p>	<p>市長 (産業観光 部長)</p>	<p>③検討</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです</p>
	<p>【質問等】 先ほど部長から事業主のところには行政としては入りにくいという話があったが、私たちはその内容について詳しくわからないが、このままの状態が今後継続することとなる。古い話になるが、以前運送屋があるが、その場所に当初は丹波畜産があったが、悪臭が発生しているということで補助金等をもらって移動させたという経過がある。しかし、現状は事業がうまくいっていない状況。行政が介入できないため、現状のまま置いておくべきなのか、何らかの計画を立てて、1・2年で対応できるなどの進めていってほしい。どのような計画があるのか教えてほしい。</p>					
5	馬路町自治会	<p>「府道宮前千歳線」と「市道三ツ辻5号線」の交差点においては、千代川町から馬路町へ向かう直進車両が多い中、馬路町から八木町方面へ向かう右折車両も多くなってきている。この交差点には「右折レーン」が無く、通学、通勤時間に右折車の後ろに直進車両が渋滞する状況が増えてきている。また、桂川堤防敷道路をう回路として利用する車両も増加し、右折車の横を無理にすり抜けようとする車も出てきており、非常に危険な交差点になっている。右折車両への対策としては、右折レーンの改良工事や時差式信号機によることが考えられ、市議会の答弁では、亀岡市から所管となる京都府や警察署と協議するとのことだが、協議の結果どういった対策を行っていただけるのか、伺いたい。</p>				

R6 地域こん談会まとめ

		<p>【質問等】 右折レーンとは関係ないが、宮前千歳と河原林のいく道は通学路になっていて、非常に多くの水たまりができており、雨の日には、自動車が水を跳ね上げて子供たちの頭から水がかかる状態となっている。雨の日のパトロールをお願いしたい。自治会には、南丹土木事務所に要望をあげていただきたいと思う。冬は、雪解けのみぞれをかぶっている子供たちをよく見かけるので協力いただきたい。</p>	<p>京都府に舗装の状況や雨の日に特にパトロールを実施していただくように要望します。 インフラ保全事業の6年度要望期限が5月末となっており、年に1度の要望となっているため、令和7年度春自治会にご案内させていただきますので、来年度のインフラ要望をお願いします。</p>	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
6	馬路町自治会	<p>令和4年4月に月読橋下流の桂川右岸に「川の駅・亀岡水辺公園」がオープンし、カヌーやラフティングも体験でき、川のごみについての環境学習も行われている。 また、水辺公園として、キャンプ場やバーベキュー場として多くの方に利用されており、浅くて穏やかな水辺で、子どもたちが遊んでいる様子がよく見かけられる。この川の駅からは川東方面の山々や対岸の草花が大変美しく目に飛び込んでくる。また、この付近は桂川の流れも緩やかで様々な魚も生息している。地球環境子ども村の「生き物大学」など自然学習のフィールドワークの場としても大変適した地域である。今後は、こういった環境を活かし、左右兩岸を行き来できるようにして、月読橋球技場とも合わせ、これら一帯を河川広場として整備することにより、一層魅力ある水辺公園にしていくことができると思われる。そういった検討をすることができないか。</p>	<p>川の駅・亀岡水辺公園を、対岸エリアを含めたエリア全体について一体的に活用することができれば、自然豊かで魅力ある田園風景が広がる川東地域への交流人口の増加も含め、相乗効果が出て、平の沢池に自生するオニバスなど、四季の草花やバードウォッチングを楽しむことができる名所のPRをすることで非常に有意義な賑わいスポットになると考えています。 一方で、公園から対岸エリアや下流エリアにおいては、左右兩岸を行き来できるようにするには、治水上の観点から、川の形状も含めて慎重に検討していく必要性もあり、今後、関係機関や関係者とも意見交換をする中で、こういった活用方法ができるのか、協議していきたいと考えています。</p>	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
7	馬路町自治会	<p>防災に向けた河川の泥上げについて 市道池尻宇津根線沿いの河川の馬路消防団一部二班のポンプ小屋前にある橋脚の下に泥が溜まってきており、以前から大雨の際には河川から溢水し、市道や隣接家屋に水が流れ出る状況が続いている。泥水により道路が見えにくくなり、車や人の走行が大変危険であるとともに、民家への浸水で被害が出ている。隣接する亀岡川東学園の児童生徒の通学にも危険な状況にもなっている。 消防団等により土嚢を積み上げるなど、水の広がりを止める応急措置をとっているが、被害を無くすことはできない。 これから梅雨期や台風期を迎え、大雨の危険が増してくるため、防災面で対応が必須になってきている。橋脚の長さなど構造上、人による作業では困難であるため大型機械での泥の除去を要望する。</p>	<p>当該水路は上流の桂川蓼島南丹統合堰から南丹用水として上流の南丹市域から下流の池尻の地域を灌漑する農業用水路であることから農繁期には一定の水量を確保しながら流れる状況となっています。また、防火用水も兼ねているようにも聞いており、常時一定流量が必要な水路であるとも考えられることから、上流での水の管理方法を細目にしていただき大雨時には農地の排水路へ水を落とし分散させる等の対応をお願いしたいと考えます。 また、当該箇所は水路と道路の構造上暗渠部分の延長が長い箇所であることは認識をするところですが、泥等の堆積物の撤去については市内一円のどこの農業用水路についても地元で対応をしていただいているところですので。当該水路の土砂上げ等の維持管理も今日まで川東土地改良区及び地域での対応をしていただいているところであり、今後ともご苦労をお掛けしますがご理解ご協力をよろしくお願ひします。</p>	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		<p>【質問等】 堆積していなかったというのは事実か。町内でいつも掃除をしているが、マスは雨が降ったら堆積する。業者をお願いする必要があると思うが、大雨が来たときは、川東学園に流れ込むくらい水量がくるため、一度大掃除をしてほしい。</p>	<p>所管である地元土地改良区と一緒に協議をさせていただいて、現場も見に行かせさせていただく中で今後の対応について考えていきたいと思ひます。</p>	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。

## R6 地域こん談会まとめ

その他意見等	馬路町自治会	三ツ辻区の文化センターと老人センターと児童館等があるが、4月終わりに耐震の調査に入るということを聞いた。その後の進捗を教えてください。	今後の予定ですが、8月中旬に耐震の事業者を決定したのちに調査を開始します。予定では、春の協議の時に年度内の事業もしたいというご意見を頂戴していた中で11月ごろには、速報値を出して、年度内3月中に最終の結果を出そうと進めているところです。センターは、三ツ辻区の公民館としての機能を有しているということとは十分承知しております。耐震診断後の対応につきましては、検討協議していきたいと考えています。	生涯学習部長	①実施	耐震診断について、9月4日に(株)三宅建築事務所により落札され、契約事務を経て9月30日には建物調査に入られ、11月21日に速報値の提示を受けました。その結果をもって理事者と協議し、12月11日には地元の皆様へ報告しました。なお、1月27日に耐震診断業務が完了したことから、調査結果報告書(成果品)の提出を受けました。
その他意見等	馬路町自治会	行政から文化センター、老人センター、児童館の使用者に11月に予定している耐震調査のチラシを7月頃に配布しているようだが、それはこちらの協議しているメンバー(関係役員)には配布されていない。利用者だけに配った経過について確認させてください。	事実関係を確認したうえで報告させていただきます。	市長 (生涯学習部長)	①実施	センター利用者に対し、速やかに耐震診断に係る周知をするべくチラシを配布しましたが、関係役員や自治会への周知が出来ていませんでした。今後、自治会、地元及びセンター利用者への周知や報告にあたっては、地元と十分に調整のうえ、事前に連携を図ることとします。
その他意見等	馬路町自治会	三ツ辻区の公民館的な役割をしていることは承認しているとおっしゃったが、調査結果によって公民館をどうしていただけるのか教えてください。館が使えなくなったら困るので建てるなどの予定を立ててほしい。	結果を見ないと利用できる場合もあるので使えないという場合には、協議させていただきますと思います。	市長 (生涯学習部長)	①実施	12月11日に行った、地元への耐震速報値の報告において、診断結果に基づく施設等の方向性について地元からの要望を出していただくこととしました。今後、地元からの要望を受けて、理事者と協議します。
その他意見等	馬路町自治会	子どもたちに本を購入する予算が年々減っている。また、お花をプランターに植えたりするが、花の苗を購入するお金がなく、少ししかお花を植えることができなかった。子どもの教育に関するところの予算をもう少し増やしてもいいのではないかと思う。川東学園の中に地域図書館が入ってしまっているが、保育園の帰りに子どもたちが利用するということで利用者数あったが、川東学園の中に入ってしまったら、千代川とかほかの地域の人もなかなか使いにくい状況で利用者数も減ってきているため、有効活用してもらいたいと思う。将来的に子育てしやすい地域を作っていたらいいかと今後高齢化が進むばかりだと思ふ。	川東学園だけでなく、すべての学校に対しても子どもたちがよい環境で育てる、予算もある意味他市町よりも多く教育局に出していただいているところもありますので、そのようなバランスを見てしっかりと検討していきたいと思ふ。	教育長	③検討	こん談会時の回答のとおりです